

現在どんな研究をしていますか？

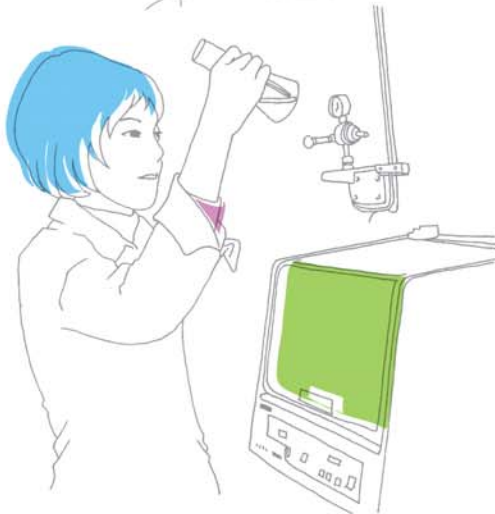
土壌の中の微生物をDNAで解析

私は土壌の微生物の専門家として働いています。土壌の中の微生物っていうのは99%が培養できないと言われていて、これまで解析が進んでなかったんですが、最近、分子生物学の発展によって、DNAを使って解析できるようになってきました。土から微生物を取るのではなく、DNAを直接取ってきて解析することを時間をかけてやっています。



土を正確に計りとり、いざ実験

土壌の微生物解析をしています



女性研究者インタビュー③

酒井 順子

生物生態機能研究領域 主任研究員



お子さんはいますか？

子どもは3人。パートナーの協力あっての子育て
子供は今3人いて、一番下はまだ2才です。

— 家庭と仕事の両立はとうですか？

両立は、正直出ていないのかも…(笑)。
私が恵まれているのは、実は同じ研究所に伴侶がおりまして、家事育児もかなり分担してもらっているんで、3人も子供を持つことができました。パートナーの協力あっての子育てです。例えば、保育園の送り迎えは一週間交代でやっていて、送り迎えをしない人が夜ご飯を作るというルールになっています。これはこの研究所に、一週間交代ルールでやっている研究者夫婦がいて、それを真似て、模範にしました。そういう意味ではたぶん、普通の主婦よりは楽をしています(笑)。

仕事か家庭かではなくどっちも取れるといい

もっと女性研究者が増えれば
いいと思いますか？

土壌の微生物は培養できないのですか？

多様で漠然とした微生物の世界の規則性を探る

土の中にはすこく成長が遅い微生物が多くて、ほんのちょっとの養分をゆっくり使ってゆっくり大きくなる。基本的に土の中は養分の少ない状態なんです。そういう所で生きられる微生物は、逆に培養が難しいのかなと思います。微生物は大きく分けて、細菌、古細菌、真核生物(糸状菌)という3つのグループがあり、日本中の土の中にどの微生物がどれだけの割合でいるのかを今年度は調べていました。

土の中の微生物は非常に多様ですが、分子生物学を使った研究で、漠然とした中にも規則性みたいなものが見えてきていて、物事のバランスがどういう所でとれているのかということに、今、興味を持っています。

1グラムの土をばっと取ってもその中に何億以上、たぶん10の9乗くらい微生物がいるのですが、ほんの一部しか何をやっているのかわからない。神秘的で、いったい何をしているんだろうっていう興味があります。



器具の滅菌完了！



研究の面白さは？

新しい方法を思いつくと
ワクワクする

一番のやりがい、他の人に自分のやったことを認められることだと思います。あとはこれまでこう言われていたけど、実は違うんじゃないかということを見つけた時とか、まだ他の人がやっていない、こんな方法で調べたらこんなことがわかるんじゃないかっていうのを、思いついた時。いい考えが浮かんだ！っていうときはワクワクしますよね。

研究者を目指したきっかけは？

まさか研究者になれるとは思ってなかった

理科は小学生の時から好きでした。大学では植物病理を専攻して、土の中に住んでる植物の病気を対象にしてました。そこから土壌中の微生物はおもしろいと思うようになって。ただ研究者をそんなに目指していたというわけでは正直な所、ないですね。なれたらいいとは思っていたんですけど、まさか自分になれるとは。実は私は試験採用っていうのがあった時代に、大学4年生卒で、マスターコースにもドクターコースにも行かないで、採用されたという経緯があります。でも、実力が無いままにここに入ってしまったって、後から苦労したんですけども(笑)でもこういう職業につけただけでも非常に幸せだなと思います。

【さかいよりこ】
愛知県出身、県立千種高校～
岐阜大学(農学部)のあと、
'94年に農環研に採用、現在に至る。
専門は土壌微生物学。
趣味はガーデニングながらも
子育てに奮闘中。



研究現場に女性が少ないのは不自然

女性がこんなに少ない方が不自然な感じがしますがね。農学部なんて女性の方が多かったのに、なぜここに来るとこんなに少なくなってしまうんだろうって。

私のように試験採用だと子育ての時期と重ならないですが、今、ドクターを卒業してここに就職するとなると、結婚とか出産の時期と微妙に重なり、よけいに女性が入りにくいのかもかもしれません。仕事か家庭か、どっちを取るかじゃなく、どっちも取れるようにすればいいなあと思うんですけど。

研究者を目指す人への
メッセージをお願いします。

研究は間違いなく面白い！

研究は間違いなく面白いです!!

アドバイスという…自分の反省でもあるんですが、一人でいろいろ考えるのもいいけれど、周りの人と常にディスカッションをして意見交換をして、よりいいアイデアを生み出して行くっていうことがとても大切なと、最近感じています。

(2010年2月取材/広報情報室)